

第1回単位組合委員長会議・第1回単位組合書記長会議を開催

生保労連・各組合一丸となり2021春闘に臨むことを確認!

生保労連は、11月30日に都内ホテルにて、難しい交渉が予想される2021春闘に生保労連と各組合とが一丸となって臨むべく、第1回単位組合委員長会議・第1回単位組合書記長会議を合同で開催しました。当日は、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、対面とWEBを併用して開催しました。

冒頭、松岡委員長より、8月の定期大会で確認した「生保産業の社会的使命達成に向けた特別決議」を踏まえ、社会全体の生活様式や価値観が大きく変化しつつある中、生保産業で働く仲間が一体となって国民・お客さまの暮らしを守り、社会からの共感・信頼



▲感染症対策を講じた会場設営およびWEB参加の方にも臨場感の伝わる運営で開催

を一層得ていくために活動していくとの決意が述べられました。

その後、コロナ禍で2021春闘を迎えるにあたり、生保労連が例年より前倒しで示した基本認識や、統一要求基準の検討状況について報告した上で、各組合の委員長・書記長方より現在の取り組み状況や春闘に臨む決意を発表いただき、皆で想いを共有し、春闘に臨むことを確認しました。

最後に、会場・WEB参加者全員で「ガンバロー三唱」を行い、生保労連・各組合が一丸となり、2021春闘を闘い抜くことを誓い合い、閉会しました。



▲飛沫飛散対策として「ばおんカード」を口元にかざし、ガンバロー三唱を行う